

■選手 A と B が対戦しています。次にあげる判定判断が正しければ○、間違いなら×とし、その理由を説明してください。

① 判定。副審は二人とも A。でも B の方が優勢と判断したので B にあげ、引き分けとした。

② 判定。副審は二人とも A。自分は B だと思ったが僅差だったので何も告げず、A の勝利を宣言し、試合後に副審と判断基準の確認をした。

③ 判定。副審は二人とも A。自分は B と判断したので副審を集め、確認後、周りにも説明を入れて再判定に持ち込んだ。

④ もつれた試合。「やめ」と止めた直後 A はガードを下ろし、B はすでに蹴る体勢に入っていたため止められず、ハイキックを入れて KO してしまった。B の反則負けとした。

⑤ A は B の攻撃に後退して場外。副審が注意の旗を振る。一回目で注意 1 とし、同じようにまた場外に出たので二回目で注意 2。減点 1 とした。

⑥ もつれた試合。引き離すために「やめ」と言うだけではなく、両者の間に入って分けた。

⑦ A の正拳突きが胸元に入り B が倒れた。ポイントを取ったが B は喉への反則攻撃だと主張。副審は二人とも見えなかったと言う。ドクターも喉だという確認はできないという。主審判断で A のポイントとした。

⑧ 本戦。A がポイント 1 を取り有利に試合を進める。中盤 A の顔面パンチで注意 1、終盤にも顔面パンチで注意 2 併せて減点 1 となった。優勢に試合を進めていたが同点。副審は一人が A。一人が引分。引き分けとした。

⑨ A がポイント 1 を取り有利に試合を進める。中盤 A の顔面パンチで注意 1、終盤にも顔面パンチで注意 2 併せて減点 1 となった。同時に B の出血とダメージがひどく、ドクターも続行できないと判断。副審と相談し、A の反則負けとした。

⑩ 延長戦。A がポイント 1 を取り有利に試合を進める。中盤 B がポイントを取り返す。両者 1 ポイント。試合は A が優勢に進めたが、終盤顔面パンチで注意 1 を受ける。判定。A に二本上がったが、副審を呼んで覆した。

⑪ 延長戦。互角。どちらも決め手がなかったが、A がつかみの反則で注意 1 を受けていた。判定 AB 一本ずつ。B にあげ、B の判定勝ちとした。